

Medical Management Specialist MMS NEWS

2016
1
月号

●発行/一般社団法人
日本医療経営実践協会
(JMMPA)
〒101-0033 東京都千代田区神田岩本町
4-14
神田平成ビル7F
●編集/日本医療企画
●毎月1回発行

お問い合わせ先 一般社団法人 日本医療経営実践協会 事務局 TEL.03-5296-1933 FAX.03-5296-1934 http://www.JMMPA.jp/

日本医療経営実践協会創立5周年記念シンポジウム開催

医療経営士の 存在意義と新たな使命

現場主導型マネジメントの確立を目指して

2015年12月7日(月)、当協会の創立5周年を記念して、ステーションコンファレンス万世橋(東京都千代田区神田)にて記念シンポジウムが開催されました。当日は、医療経営士を中心に170人あまりが集まり、会場はほぼ満席の状態。医療界の未来や病院経営について、有識者、経営者、医療経営士と一緒に考える集いとなりました。

政策提言ができる医療経営士へ さらなる成長を目指そう

師走最初の月曜日に
もかわららず、13時の
開演を前に医療経営士
が続々と集まり、会場
はあっという間に人で
あふれた。
主催者挨拶に立った

吉原健二代表理事は、
この5年間を振り返り、
医療経営士が当初の予
想を上回る数で推移し
ていることを喜ぶこと
もに、その役割につい
て、「理事長、院長を補



会場の一角に設けられた、当協会の歴史を振り返るパネル展示コーナー

佐し、現場の課題を的確かつ迅速に解決する人材」であることを改めて確認した。また、協会として医療経営士のさらなる育成と質の向上に努めていく旨を述べた。

続く特別講演では、

厚生労働省保険局医療介護連携政策課課長補佐の田中広秋氏が登壇。現在、審議が進んでいる2016年度診療報酬改定にふれながら、地域包括ケアシステムを中心とした、これからの医療介護について講演した。地域包括ケ



主催者挨拶
吉原健二代表理事



特別講演
田中広秋氏
(厚生労働省保険局医療介護連携政策課課長補佐)

厚生労働省保険局医療介護連携政策課課長補佐の田中広秋氏が登壇。現在、審議が進んでいる2016年度診療報酬改定にふれながら、地域包括ケアシステムを中心とした、これからの医療介護について講演した。地域包括ケ



講演1
上田哲郎氏
(公益財団法人東京都保健医療公社多摩北部医療センター院長)



講演2
桃田寿津代氏
(日本看護職副院長連絡協議会会長、医療法人社団緑会会横浜総合病院副院長兼看護部長)



基調講演
川渕孝一氏
(東京医科大学大学院教授)

アシテム誕生にさかのぼり、現在の形へと進化した経緯をおさえることで、今後の方向性をひもどいた。続いて基調講演に立った東京医科大学大学院教授の川渕孝一

氏は、医療経営士たる者、「国が何をしてくれるかではなく、自分が国にできることを考えよ」と述べ、「政策提言ができる医療経営士を目指そう」と呼びかけた。



会場となったステーションコンファレンス万世橋

第17回「医療経営士3級」資格認定試験

医療経営士 資格認定試験 日程 1月12日(火)まで

受験エントリー

1月12日(火)まで

受験料	8,640円(税込) ※手数料別途
受験資格	年齢、学歴、国籍等の制約はありません
試験会場	札幌・仙台・東京・金沢・名古屋・大阪・福岡・鹿児島・沖縄

全国9都市で
実施

試験日 2016年

■受験エントリー期間
2015年 12月3日(木)～
2016年 1月12日(火)

2/21(日)

■受験料支払締切日
2016年 1月14日(木)

出題科目	①医療経営史 ②日本の医療政策と地域医療システム ③日本の医療関連法規 ④病院の仕組み/各種団体、学会の成り立ち ⑤診療科目の歴史と医療技術の進歩 ⑥日本の医療関連サービス ⑦患者と医療サービス ⑧医療倫理と生命倫理 ⑨医療に関する最近の動向
団体受験	◇受験者10名を超える場合、団体としてまとめてお申し込みできます。 ◇一定の条件を満たした場合、認定会場制度をご利用できます。※審査があります

同僚や知り合いの方にご紹介ください。

受験エントリーは
ホームページから

病院組織改革を成功に導く
院長、看護部長による実践的マネジメント

続いては、医療現場に視点を移した講演となった。

講演1では、「現場改革を成功させる病院組織のリーダーシップ」院長が求める経営人材と医療経営士の役割」と題し、多摩北部医療センター院長の上田哲郎氏が登壇。リーダーシップの要素は、① Mission ② Vision ③ Values であること語った。また、病院の価値(Value)を高めるためには、質の向上(Quality)と同時に、患者の費用軽減(Cost)、自院の特

徴の確立(Identity)を意識すべきと述べた。

講演2では、日本看護職副院長連絡協議会会長で横浜総合病院副院長兼看護部長の桃田寿津代氏が登壇。自身

が実践しているコミュニケーションセッションにおける人材育成の取り組みについて語った。看護師の離職に悩む医療機関が多い現状について、「気持ちにゆとりがない状態が続くと、不安を感じて辞めてしまう看護師が多い。常に相談できる環境をつくることも」

看護師一人ひとりに目的を持たせ、病院内外の研修に参加できるようにするなど、学び続ける体制づくりが重要」と強調した。

医療経営士の存在意義を高めるためには
経営トップへのアピールも必要

シンポジウムの最後は、「現場主導型マネジメントの確立を目指す——医療経営士が取り組むべき使命と課題」をテーマとしたパネルディスカッション。パネリストである、東京医科大学八王子医療センター病院長の池田幸徳氏、東日本税理士法人副所長の長英一郎氏、国立病院機構高崎総合医療センター事務部長の山浦康弘氏、医療・病院管理研究協会常任理事の中村彰吾氏の4人が順番に意見を述べ、

「なぜ、医療経営士が必要だったのか?」「医療経営士にとっての経営とは何か?」などの質問について、それぞれの中で池田氏は、「病院の事務部門に、医療経営士が一人でもいたら、病院は変わるのではないか」と問いかけた。一方で中村氏は、自身が塾長を務める中村塾の塾生から、「経営陣が医療経営士を認知して



医療経営士の課題について、さまざまな意見が交わされたパネルディスカッション



パネリスト
池田幸徳氏
(東京医科大学八王子医療センター病院長)



パネリスト
長英一郎氏
(東日本税理士法人副所長)



パネリスト
山浦康弘氏
(独立行政法人国立病院機構高崎総合医療センター事務部長)



パネリスト
中村彰吾氏
(公益社団法人医療・病院管理研究協会常任理事)



参加者の熱気あふれるシンポジウム会場

「医療経営士が活躍できる場がない」という声があがっていることに加え、理事長、院長などトップ層に対して医療経営士の活動をアピールするなど、協会は経営陣教育にも取り組んでほしい」との要請を述べた。

その後、隣室にて創立50周年記念レセプションを開催。小林利彦代表理事代行や天良雄理事など、当協会関係者が次々と登壇し、医療経営士に課せられた使命の重要性について参加者に熱く語りかけ、今後の活躍にエールを送った。

医療界において、医療経営士がある程度の存在感を示せるようになってきたからこそ、より一層の努力と成果が求められていることを実感する1日となった。

「プラチナ社会」提唱者小宮山宏先生が語る!!

「プラチナ社会の実現」 ——地域医療はどう変わるのか

一般社団法人日本医療経営実践協会

2016年
「新春講演会」
&
「新春の集い」

世界規模で少子高齢化と環境問題が重要かつ喫緊の課題となっています。これらの課題を高いレベルで解決する「プラチナ社会」とは、どんな社会でしょうか。そして、「プラチナ社会」は、地域医療をどのように変え、日本人の暮らしをどのように豊かにするのでしょうか。「プラチナ社会」の実現をめざし、さまざまな活動を行う小宮山先生に明確なビジョンを示していただきます。

講師：小宮山 宏先生
プラチナ構想ネットワーク会長
株式会社三菱総合研究所理事長
東京大学 第28代総長



1944年栃木県生まれ。1967年東京大学工学部化学工学科卒業。1972年同大学大学院工学系研究科博士課程修了。1988年東京大学工学部教授、2000年工学部長、大学院工学系研究科長、2003年副学長などを経て、2005年4月第28代総長に就任。2009年3月に総長退任後、同年4月に三菱総合研究所理事長(現職)、東京大学総長顧問(2015年3月まで)に就任。2010年8月24日、プラチナ構想ネットワークを発足し会長就任。

- 開催日
2016年1月30日(土)
新春講演会:15:00~16:00(開場14:30)
新春の集い(懇親会):16:20~18:30
- 参加料
新春講演会:会員3,000円、一般5,000円
新春の集い(懇親会):会員限定3,000円
※会員:医療経営士、介護福祉経営士(申請中の方も可)
- 会場
学士会館
東京都千代田区神田錦町3-28

医療経営士 新春講演会2016

NEWS & TOPICS

協会事務局からのお知らせ

協会創立5周年記念シンポジウム・レセプションが終了！ 2016年「新春講演会」&「新春の集い」のご参加を受付中！

2015年12月7日(月)に、協会創立5周年記念シンポジウム・レセプションが終了しました。当日は約170名の参加者を迎え、熱気ムンムンの中で各セッションが行われました。12月だというのに、冷房を目いっぱいかけてやっという状況ですから、その熱気振りがおわかりになることと思います。レセプションでも会員同士、そして協会関係者と会員の交流が随所で見られ、今年最後のビッグイベントは大成功となりました。

さて、協会創立5周年記念シンポジウムが終了したばかりですが、次なるビッグイベントが控えています。2016年1月30日(土)に開催する「2016年「新春講演会」&「新春の集い」」のご案内です。「新春講演会」では、東京大学第28代総長を務められ、現在、株式会社三菱総合研究所理事長、プラチナ構想ネットワーク会長である小宮山宏氏に、「『プラチナ社会の実現』～地域医療はどう変わるのか」をテーマにご講演いただきます。そして会員限定の「新春の集い」では、さまざまな職場で活躍されている医療経営士の皆様との相互交流や意見交換などを通じ、セミナーや研究会活動とはまた一味違う自己研鑽の場となることが期待されます。2016年の会員活動のきっかけづくりとして、皆様のご参加をお待ちしております。なお、今回も本協会の賛助会員である「一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会」が認定する「介護福祉経営士」にもご参加いただく予定です。医療と介護の連携を進めるよい機会になると思います。

続いて、「認定証」発送のご案内です。2015年12月締め切りの更新申請者ならびに正会員登録・入会申請者(更新・認定審査を通過された方)へ、2016年1月中旬に「認定証」を発送いたします。この「認定証」は、試験の際の身分証明書やセミナー・各種イベントの受講証などとしてご利用いただけますので、大切に保管・管理をお願いいたします。

最後に、2級合格者の等級変更手続きについてご案内申し上げます。10月の試験で2級に合格された3級会員の皆様は、合格証明書交付(合格証番号の発行日)より6カ月間が等級変更登録期限となります。協会ホームページより「個人正会員等級変更申請書」をダウンロードしていただき、必要事項をご記入の上、協会事務局までご送付願います。なお、等級変更事務手数料として2,600円が必要となりますので、郵便局に備え付けの「払込取扱票」またはATMよりご入金いただき、振替払込請求書兼受領証を等級変更申請書の裏面へ貼付ください。ご不明な点がございましたら、協会までお問い合わせください。

それではまた次号でお会いいたしましょう。

第17回医療経営士3級試験 のエントリー受付中！

2016年2月21日(日)に実施する第17回「医療経営士3級資格認定試験」の受験エントリーを受け付け中です。締め切りは2016年1月12日(火)。受験料の入金締め切りは1月14日(木)。受験料の入金を

をもって正式に受験申し込みが完了します。受験者が複数人いる場合は団体受験申し込みも受け付けており、受験料の請求、受験票試験結果通知、合格証は受験者全員分を団体担当者へ送付します。すでに本協会会員の方にも、それぞれの所属先で試験の案内をお願いいたします。

第3回医療経営士1級試験の第2次試験終了

第3回「医療経営士1級資格認定試験」の第2次試験が12月6日(日)に東京都内で実施

され、11名の受験者が「口頭試問(プレゼンテーション形式)」と「面接試験」に臨みました。第2次試験の合格発表は12月24日(木)。資格認定審査要件を満たした合格者は、「医療経営士1級」として認定されます(本紙次号にて合格者をご紹介する予定です)。

2016年新春講演会&「新春の集い」を開催

2016年1月30日(土)に東京都千代田区の「学士会館」において、「新春講演会」および「新春の集い」を開催

します。第1部の「新春講演会」では、東京大学第28代総長を務められ、現在、株式会社三菱総合研究所理事長、プラチナ構想ネットワーク会長である小宮山宏先生に、「『プラチナ社会の実現』～地域医療はどう変わるのか」をテーマにご講演いただきます。

また、第2部の「新春の集い」では医療経営士と介護福祉経営士(本協会賛助会員の一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会)の限定参加とし、

両経営士の相互交流を図り、強固なネットワークを築き上げていく機会とします。

医療経営士・介護福祉経営士両会員の参加費は、第1部、第2部ともに3,000円。小宮山先生のご講演を聴ける機会はなかなかありませんので、ぜひご参加ください。

医療経営士資格更新ならびに年会費の手続き延長措置について

2016年1月14日(木)に認定期間の満了を迎える会員の更新申請受付が12月14日(月)

をもって終了しましたが、更新意思のある会員に対して延長措置を行っています。延長措置を希望する更新対象会員は、協会事務局までご連絡ください。なお、延長措置の対象者は、新規の認定カードの発送が2016年5月以降になります(発行日は1月15日「金」)。

また、同じく12月14日(月)で年会費の納期限を迎えた会員に対しても支払期限の延長措置を行っています。延長措置を希望する対象会員は、協会事務局までご連絡ください。

MMSニュースを活用して、「医療経営士」の認知度アップにご協力ください！

会員サービスの一環として毎月発行しているMMSニュースを活用して、「医療経営士」の認知度アップにご協力くださる会員様を募集しております。職場やお取引先へMMSニュースをお配りいただくことで、ご自身の活動のアピール資料としても、ご活用いただけると思います。

配布用のMMSニュースをご希望の方は下記のアドレスへ「MMSニュース希望」とタイトルをつけ、認定登録番号、お名前、御社名、所属部署、肩書き、送付先住所、電話番号、そして必要部数をご連絡ください(ご希望の部数につきましては、ご連絡をいただいた段階で調整させていただきます)。

皆様のご応募をお待ちしております！

お申し込み ▶ E-mail: info@jmma.jp

地域包括ケア時代のキーパーソン

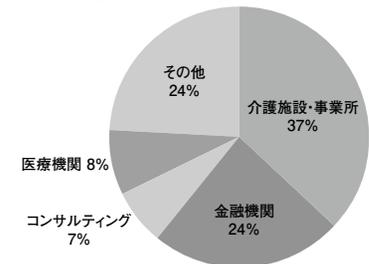


「介護福祉経営士」資格認定試験のご案内

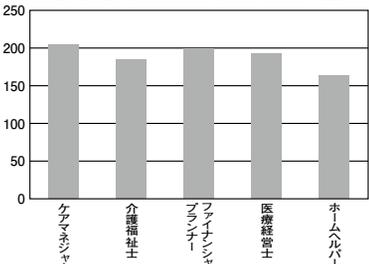
— 介護の魅力と価値を高めるのはあなたです —

成長産業として注目を集める介護福祉業界で、2013年に誕生した「介護福祉経営士」。過去8回の「介護福祉経営士2級」試験では996人が合格しました。そのうち金融機関・医療機関勤務者が約3割を占め、さらに、医療経営士とのダブルライセンス取得者は現在193人になりました。あなたも、医療経営と介護経営の双方に明るい人材となって、活躍の場を広げませんか？

2級合格者の職業別構成 (過去8回試験の累計)



2級合格者の保有資格別構成 ※重複あり



第9回 2級 2016年 2月21日(日)

受験申込締切
2016年 1月15日(金)まで

全国8都市で実施
沖縄初開催!

第16回「医療経営士3級」、第10回「医療経営士2級」資格認定試験の合格者を発表

2級試験の累計合格者500人突破! 正会員数3000人の大台を超える見込み

一般社団法人日本医療経営実践協会(代表理事 吉原健一)は11月25日(水)に、第16回「医療経営士3級」と第10回「医療経営士2級」資格認定試験(ともに10月25日「日」実施)の合格者を発表した。全国15会場で1023人が受験した3級試験は471人、全国8会場で281人が受験した2級試験は83人が合格した。各種データから両資格認定試験の結果を紹介する。

第16回「医療経営士3級」資格認定試験

【結果概要】

受験申込者数1775人のうち1023人が受験し、471人(合格率46.0%)が合格した(表1)。その結果、第1~16回までの累計受験者数は1万2394人、累計合格者数は5480人(合格率44.2%)となった。

【年代別構成】

受験者数は「30歳以上39歳以下」、合格者数は「40歳以上49歳以下」が多となった(表2)。合格率は、受験者数が少ない「60歳以上」を除けば、「40歳以上49歳以下」が唯一30%を超えるまで広が

【男女別構成】

受験者数は男性846人、女性177人、合格者数は男性392人、女性79人であった。合格率は男性46.3%、女性44.6%で男性が1.7ポイント上回った。

【勤務先別構成】

受験者数は「金融機関」が最多の450人、次いで「病医院」が228人で、同様の傾向が続いている(表3)。また、「金融機関」の累計受験者数は5000人を突破し、全体の43.3%を占めるまで広が

第10回「医療経営士2級」資格認定試験

【結果概要】

受験申込者数3006人のうち281人が受験し、83人(合格率29.5%)が合格した(表4)。その結果、第1~10回までの累計受験者数は2336人、累計合格者数は554人(合格率23.7%)となった。

【年代別構成】

受験者数は「病医院」が98人で最多、「金融機関」が86人で次いで2番目に高い。

【男女別構成】

受験者数は男性238人、女性43人、合格者数は男性70人、女性13人であった。合格率は男性29.4%、女性30.2%で女性が0.8ポイント上回った。

【勤務先別構成】

受験者数は「病医院」が98人で最多、「金融機関」が86人で次いで2番目に高い。

一方、合格率では「医療関連企業」が64.0%で全体を大きく上回っておりを見ている。

「その他」がトップ。受験者全員が合格したことなどが影響したと考えられる。

「医療関連企業」が19.6%で全体を大きく下回っている。「その他」は過去累計の合格率でも「金融機関」と並び最も高い(26.9%)。「金融機関」は3級試験の累計合格率が低い一方で、2級試験は高くなっている。

最後に、両試験結果の5年間を振り返る。第11回で初めて受験者数が1000人を超え、第12回で過去最高の1310人が受験。その後、受験者数は1000人前後で推移している。

新たに3級合格者が471人増えたことで、正会員数は3000人の大台を超える見込みだ。全国に医療経営士ネットワークが広がり、医療機関の成長・発展につながっていくことを期待したい。

なお、第17回「医療経営士3級」資格認定試験(エントリーを受付中)は2016年2月21日(日)、第11回「医療経営士2級」資格認定試験は2016年6月19日(日)に実施される。

●総評

最後に、両試験結果の5年間を振り返る。

表1 第16回3級試験および過去試験累計 結果概要

	第16回試験	第1~16回試験累計
受験者数	1,023人	12,394人
合格者数	471人	5,480人
合格率	46.0%	44.2%

表2 第16回3級試験 年代別構成

年代別	受験者数	合格者数	合格率
29歳以下	207人(20.2%)	84人(17.8%)	40.6%
30歳以上39歳以下	397人(38.8%)	167人(35.5%)	42.1%
40歳以上49歳以下	312人(30.5%)	172人(36.5%)	55.1%
50歳以上59歳以下	103人(10.1%)	44人(9.3%)	42.7%
60歳以上	4人(0.4%)	4人(0.8%)	100.0%

表3 第16回3級試験 勤務先別構成

勤務先	受験者数	合格者数	合格率
病医院	228人(22.3%)	104人(22.1%)	45.6%
医療関連企業	189人(18.5%)	121人(25.7%)	64.0%
金融機関	450人(44.0%)	169人(35.9%)	37.6%
大学・短大生	7人(0.7%)	2人(0.4%)	28.6%
その他	149人(14.6%)	75人(15.9%)	50.3%

表4 第10回2級試験および過去試験累計 結果概要

	第10回試験	第1~10回試験累計
受験者数	281人	2,336人
合格者数	83人	554人
合格率	29.5%	23.7%

表5 第10回2級試験 年代別構成

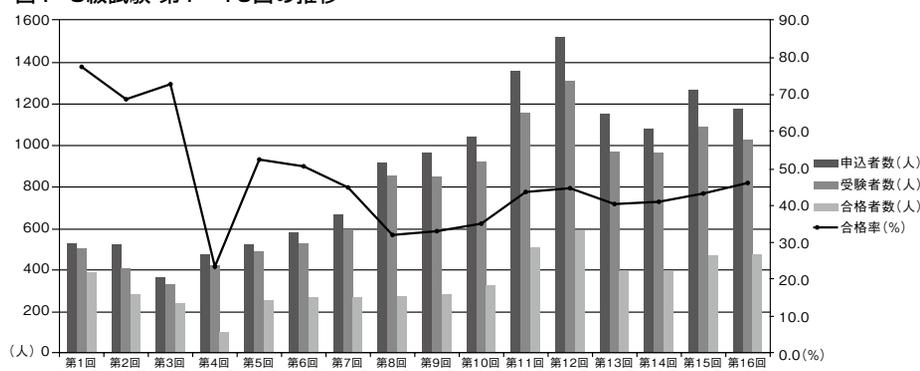
年代別	受験者数	合格者数	合格率
29歳以下	22人(7.8%)	7人(8.4%)	31.8%
30歳以上39歳以下	111人(39.5%)	37人(44.6%)	33.3%
40歳以上49歳以下	96人(34.2%)	27人(32.5%)	28.1%
50歳以上59歳以下	47人(16.7%)	11人(13.3%)	23.4%
60歳以上	5人(1.8%)	1人(1.2%)	20.0%

表6 第10回2級試験 勤務先別構成

勤務先	受験者数	合格者数	合格率
病医院	98人(34.9%)	31人(37.3%)	31.6%
医療関連企業	56人(19.9%)	11人(13.3%)	19.6%
金融機関	86人(30.6%)	26人(31.3%)	30.2%
大学・短大生	1人(0.4%)	1人(1.2%)	100.0%
その他	40人(14.2%)	14人(16.9%)	35.0%

*カッコ内の数値は全体に占める割合。小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。
*勤務先別の「その他」には、弁護士、税理士等の士業、建設会社等の一般企業が該当する。

図1 3級試験 第1~16回の推移



*第2回は2011年4月24日の追試験者を含みます。
*第3回と第4回の申込者数には、第2回の振替申込者が含まれます(2011年3月11日の震災による)。

図2 2級試験 第1~10回の推移

